

小・中連携で行うキャリア教育の実践

～ 体験活動を軸として～

美祢市立豊田前中学校・豊田前小学校・桃木小学校

キャリア教育の観点

地域のよさを生かし、地域の財を活用した体験活動を取り入れるとともに、その事前指導・事後指導において活動を通してつきたい力を明確にし、一貫した指導を充実させることで、社会との関わりの中で自分たちの自立的な活動を行い、振り返りながら成長・発達へとつなげる取組を行っています。

【人間関係形成・社会形成能力】【自己理解・自己管理能力】【課題解決能力】

地域と共に歩む体験活動

豊田前中学校区にある豊田前中学校、豊田前小学校、桃木小学校の3校は、小中連携の体制づくりを進める中で、キャリア教育の視点を取り入れ、地域の人材を活用して、さまざまな体験活動に取り組んでいる。地域の方は学校の教育活動に対して理解があり、学校行事にもよく参加して下さる。そのためこの体験活動が、児童生徒が机上の学習とは違った新たな発見や喜びを感じる機会となっている。

各校の体験活動

豊田前中学校

豊田前中学校では、家庭・地域社会との連携による体験的学習として、地域の方々に講師に招いて、豊田前音頭の練習、絵手紙づくり、菊づくりを行っている。また、文化祭では「豊田前ふれあい体験」として茶道・華道、竹トンボづくり、凧づくりに取り組んでいる。

また、本校の卒業生に高等学校の話聞く「先輩に学ぶ会」、地域の方に職業人としての話を聞く「働く人に学ぶ会」を開き、将来の進路について深く考える場を設けている。

これらの活動を通して、他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、さまざまな人々とのコミュニケーションを図り、協力、協同してものごとに取り組む人間関係形成能力を養っている。

豊田前小学校

豊田前小学校は、地域の老人会・農協女性部・PTAの方々の協力をえながら、米作りや菊を中心とした緑化活動や野菜の栽培に取り組んでいる。

また、学年の発達段階に応じ「園児さんを喜ばそう会」「田んぼの秘密を探ろう」、「昔の豊田前にタイムスリップ」、「自分の生き方向上プロジェクト」等の単元を設けている。

これらの活動を通して、先人の知恵や心情を体験しながら学び、「働くことや収穫の喜び」を体感するとともに、「よりよい生き方や人を含めたふるさとを愛すること」について考え、「感謝する心情」、「互いを思いあう心情」、「コミュニケーションの能力」を養っている。



桃木小学校

桃木小学校では、昨年度まで放課後子ども教室で地域の方々ともち米をつくってきた。地域の方々とは交流するにあたっては、年度当初に総合的な学習の時間においてグランドゴルフ大会の企画・運営を行い、地域の方を招き、親交を深めてきた。また、運動会や桃小まつりでも地域の方々に招き、学習発表を行い、日頃の学習の成果を見ていただいていた。もち米の収穫後も、もちわらを使ってのわら工作を企画・運営し、地域の方々に講師となっていたり、放課後子ども教室で地域の方々ともちつきをしたりした。体験活動を地域の方々といっしょに行っていくことで交流を深めながら、地域の一員として自覚し、自分なりにもてる力を発揮しながら地域に貢献できる力を養ってきた。

体験活動を生かす学校内での活動



桃木小学校では、自分の力で課題を乗り越えられる子どもの育成に向けて取り組んでいる。グランドゴルフ大会では、大会の進め方、コースの設定やプレゼントまで高学年が自ら決定し、計画を立てて実施した。その中で、個人個人が自らの役割を果たすことが大会の成功につながることや、参加した地域の方々がプレゼントに喜んでくださる笑顔に接し、企画してよかったという有用感を味わった。また、高学年の学びをもとに低・中学年では、ふれあいわら工作の企画・運営を通して見通しをもって準備していくことの大変さを体感した。



豊田前小学校では、キャリア教育を「生きる力」を育む教育と捉え、今やなくてはならないことやまかされたことに対して主体的に関わり、根気強く、誠意を持って責任を果たす力や人を思いやり、社会的自立の促進と自分の将来に向けて主体的に問題解決をしていく実践力を育てたいと考えている。このため、下記のように、様々な体験的に学ぶ活動を設定している。

- ・ 働くことの大切さや楽しさを実感し、地域の方の生き方や知恵を学ぶ栽培活動
- ・ 将来の生き方と関連することへの理解を深め、互いに学び合い高め合う授業



豊田前中学校のキャリア教育推進のねらいは「生徒一人ひとりが、自己の個性・適性を理解するとともに、自己にふさわしい生き方を追求し、主体的に進路選択をしようとする意欲や態度の育成を図る」である。生徒は、株分けをし、代々受け継いできている菊を秋に豊田前公民館で開催される菊花・もろもろ展に出品している。生命の連続性を感じ、菊の世話を続ける継続する力、鉢の植え替えなどの手を加える忍耐力を培った。

成果と課題

豊田前中学校区の児童生徒は、地域の方や保護者の温かいまなざしの中、充実感をもち、やさしく、たくましく成長している。自分のよさや成長を自覚し、上の学年が下の学年の子に優しく教える風土があり、人としてキャリアアップしている。今後、より広い視野で自分の将来を見据えて努力し、困難なことがあってもくじけない強さをもつことができるよう、異校種や地域社会・保護者との連携・協力体制の充実に努めていきたい。また、総合的な学習の時間を軸としながらも各教科を有機的に関連付け、キャリア教育の観点で評価をしながら進めて行けるようにしたい。

全体計画との関連

小規模であるがゆえに目の前のことに対しては、目標に沿って行えるが、広がりや深まりに欠ける。また、地域的にも地域の方々と連携しやすい反面、顔見知りや慣れに左右され、初めて会う見知らぬ人や慣れないことへの対処能力に欠ける。そのため、小中連携するにあたっては、全体計画の目標をめざした取組に、さらに広がりや深まりをもたせた視点をもって活動していくことが必要である。

今後、自ら振り返らせ、内省を促す評価活動により、児童の成長・変容を把握しながら、必要なフォローアップや計画を修正し、今後の成長の可能性を見い出すよう、個別支援を充実させていきたい。